

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和6年3月1日

第17回本多静六賞の受賞者決定について ～伊佐 裕 (いさ ひろし) 氏が受賞～

埼玉県では、森林に関する学術研究や実践活動に尽力し、森林や公園の造成等を通じ、社会に貢献した日本初の林学博士である本多静六博士の精神を受け継ぐ個人又は団体を、「本多静六賞」として表彰しています。

今回は、10件の個人・団体の推薦応募があり、選考委員会での審査を経て、下記のとおり決定しました。

● 受賞者

伊佐 裕 (いさ ひろし) 氏

伊佐ホームズ株式会社 代表取締役社長

森林パートナーズ株式会社 代表取締役会長

● 受賞理由

(1) ICTを活用した新たな流通システムによる林業の6次産業化を实践

ICTを活用して効率的に川上・川中・川下をつなぐことで、秩父地域から豊かな木材を安定的に供給し、また川上へは適切な収益還元を目指す新たな木材流通サプライチェーンを実現した。

経済的な合理性に基づいて産業面から林業を支え守っていくといった、本多静六博士の精神に通ずる大きな志を持ち、それを着実に実践していることが高く評価された。

(2) 木材流通サプライチェーンの広がり

新たな木材流通サプライチェーンは、全国的にも注目度が高く、取組が広がり始めており、地産地消の促進や地方創生の実現など日本の林業の維持発展に繋がることが期待されている。

(3) 緑と共生する社会づくりへの貢献

森林の総合的価値並びに木の文化の本質を都市部消費者や子供たちに伝え、森に親しみを持ってもらうことが森林環境を守る何よりの力となり、ひいては森林・林業を支えてもらうことができると考え、都市部から多くの参加者を募った植樹ツアーを主催し、秩父市内において植樹活動を実践するなど、緑と共生する社会づくりへ貢献している。

■参考情報 本多静六賞の概要

趣 旨：本多静六博士の功績をたたえとともに、緑と共生する社会づくりを推進する。

対 象：埼玉県にゆかりがあり、学術研究又は実践活動により緑と共生する社会づくりに貢献した個人又は団体

選考方法：本多静六賞選考委員会の選考を経て知事が決定

選考委員会：永田 信 委員長（公益社団法人大日本山林会会長）外7名

過去の受賞者：第1回 山中 敬久 氏（林業経営者）
第2回 NPO 法人埼玉森林サポータークラブ（森林ボランティア団体）
第3回 原 邦紘 氏（林業経営者）
第4回 斎藤 馨 氏（東京大学教授）
第5回 県立浦和高等学校同窓会（高校OBによる森林づくり活動）
第6回 太田 猛彦 氏（東京大学名誉教授）
第7回 石井 清允 氏（森づくり活動指導者）
第8回 岩田 洋 氏（埼玉森林インストラクター会顧問）
第9回 お菓子な郷推進協議会（菓子製造業団体）
第10回 坂本 全平 氏（林業経営者） 特別賞：久喜市立三箇小学校
第11回 NPO 法人ときがわ山里文化研究所（森林ボランティア団体）
第12回 藺田 稔 氏（秩父神社宮司、京都大学名誉教授）
第13回 関口 定男 氏（前ときがわ町長、埼玉県中央部森林組合顧問）
第14回 栗原 慶子 氏（東吾野女性林研「ときめ木」会長）
第15回 中島 宏 氏（造園技術者）
第16回 犬井 正 氏（獨協大学名誉教授）